

3 文をふくらませる (2)

「彼女は勉強する。」 She studies.
 → 「彼女はとてもよく勉強する。」
 She studies **very hard**. → 「彼女は医者になるためにとてもよく勉強する。」
 She studies **very hard to be a doctor**.
 ここでは動詞に副詞的な修飾語で説明を加えたり、中心になる文(主節)に副詞的な働きのある文(従属節)で説明を加えて文をふくらませる方法を学習しましょう。

- ① ゆっくりはっきりとしゃべってください。
- ② 私たちは放課後バスケットボールをした。
- ③ 彼女は試合に勝つために全力を尽くした。
- ④ 彼は大学に入るとアパートを借りた。
- ⑤ 彼は忙しくて、コンサートに行けなかった。

例題

PRACTICE

() 内に適当な語を入れなさい。

- 1 彼は足が速い。
He runs (fast).
- 2 その男は小さな声で話した。
The man spoke (in) a low voice.
- 3 雨がやむまでここで待とう。 (until) ※スプリル注意
- 4 彼はレギュラー選手になるために熱心に練習した。
He practiced hard (to) be a regular member of the team.
- 5 かぜをひかないように気をつけなさい。
Take care (not) (to) catch a cold.
- 6 忙しくて歯医者に行く時間がない。
I'm so busy (that) I have no time to go to the dentist.

~ 目的に... は他にも
 ... hard
 [so that he could be
 • in order to be
 • because he wanted to be]
 a regular.....

注意すべき副詞の位置

否定や頻度・程度を表す副詞は、一般動詞の前(①)、be動詞の後(②)、助動詞の後(③)に置きます。

- ① He **never** drinks coffee. (彼は決してコーヒーを飲まない。)
- ② Midori is **always** cheerful. (みどりはいつも明るい。)
- ③ I am so tired that I can **hardly** walk. (私はとても疲れているのでほとんど歩けない。)

文末に「時」や「場所」を表す副詞や副詞句が重なる場合には、原則として「場所」→「時」の順に並べます。

- ④ We studied in the library **after school**. (私たちは図書館で放課後勉強した。)

Lecture 3

動詞を修飾する方法

- ⇨ 副詞を使って
- ⇨ 前置詞を使って
- ⇨ to-不定詞を使って
- ⇨ 接続詞(when)を使って
- ⇨ 接続詞(because)を使って

- ① Please speak slowly and clearly.
- ② We played basketball after school.
- ③ She did her best to win the game.
- ④ He rented an apartment when he entered college.
- ⑤ He was unable to [He couldn't] go to the concert because he was busy.

PASSPORT

解答例

EXERCISES

☺ 下線部が副詞的修飾語をE助ける。

- 1 次の日本語に合うように()内の語句を並べかえなさい。
 - (1) 彼はいつでも約束の時間に遅れて来る。
He (comes, for, always, late) appointments.
(always comes late for)
 - (2) 彼女は家族といっしょに来年ロンドンへ引っ越します。
She will (next year, with her family, to London, move).
(move to London with her family next year)
 - (3) その少女は彼からEメールをもらって、とても喜んだ。
The girl (receive, very glad, from him, an e-mail, was, to).
(was glad to receive an e-mail from him)
 - (4) 私の父はどんなに忙しくても、私の言うことに耳を傾けてくれる。
My father listens to me, (he, may, busy, however, be).
(however busy he may be)

- 2 次の日本語に合うように()内の指示に従って、英語で表現しなさい。
 - (1) 3時までには帰って来ます。(前置詞を使って) until: ~まで
I'll be back by [before] three o'clock
 - (2) 問題を解くのを手伝ってくれるなんて、君は親切だね。(to-不定詞を使って) (1) by: ~までに
You are kind (enough) to help me solve the problem.
 - (3) ジョン(John)は死んだけれども、彼の音楽は永遠に生きるだろう。(接続詞を使って) until: ~まで
Though [Although] John died, his music will live forever.
- (2) help 人 (to) do 人が~のE助ける。